

同志社大学司書課程・司書教諭課程主催 2018年度図書館見学会および見学記

(日程)

11月27日 (火)

13:30 上野駅集合
14:00-15:30 国立国会図書館国際子ども図書館 見学
(オプション)
16:30-18:00 印刷博物館 見学

11月28日 (水)

10:30-12:00 東京都立中央図書館 見学
13:30-17:30 東京子ども図書館 見学

11月29日 (木)

10:30-12:00 ポプラ社 見学
13:30-15:00 福音館書店 見学
(解散後、自由散策)

図書館見学記

文学部国文学科 釘 丸 奈 実

一日目に伺った国際子ども図書館では、館の歴史や館内の工夫などを詳しく説明していただきました。元は明治期に帝国図書館として設立されたということで、建物のレンガの構造に違いがあったり、天井の彫刻がそのまま残されていたりと歴史を感じさせられました。館内の説明をお聞きして興味深いものばかりでしたが、特に驚かされたのは開架の閲覧室である「子どもの部屋」でした。ぐるっと本に囲まれるように書架を並べており、天井の照明は資料を読む際にどこにいても影がかかることのないようなものを採用しているようで、資料を保存するだけでなく利用者の目線で考えられた図書館であるように思いました。

二日目は最初に東京都立中央図書館に伺いました。この図書館は有栖川宮記念公園の中に建立されており、周りを豊かな木々が囲む気持ちの良い図書館でした。館内の蔵書の種類や配架の形式はなかなか例を見ない工夫が凝らされていました。図書館の周りには多くの外国大使館があることから、外的環境を反映させており、蔵書は外国の書籍も多く取り扱われていました。新聞閲覧コーナーの新聞の数は圧巻で、全国紙やスポーツ紙だけでなく、地方紙や外国語新聞、そしてなかなか目にする事のないような専門紙まで幅広く取り揃えていました。また病気の書籍が、細かく病気の種類ごとに分類・配架されているのは特にいままでに見たことがないのでした。次に伺った東京子ども図書館はまるで隠れ家のような雰囲気のレストランでした。この図書館の特殊なところは「おはなしの部屋」という読み聞かせの部屋があり、毎回お話をする前にろうそくを付けて子どもたちにお話をするそうです。司書の方に実際にお話をさせていただくことができたのですが、ろうそくをつけるととてもわくわくさせられ、話の仕方に引き込まれてあっという間に時間が過ぎてしまいました。貸し出しに関しては子ども専用の貸出カード

を作って保管しており、子ども一人一人とのコミュニケーションを大事にしているように感じました。

今回の図書館ツアーでは、なかなか聞くことのできないお話を聞かせていただいたり、実際に拝見させていただいたりと貴重な体験をさせていただき、とても勉強になりました。ありがとうございました。

文学部国文学科 御前友実

私が今回の図書館ツアーで印象に残っているのは、福音館書店見学です。初めに福音館書店の概要説明を聞いた後、実際に絵本の原画を見せてもらい、さらに印刷の工程を踏まえてどのように完成されていくかを教えていただきました。

その中でも特に衝撃を受けたのは、福音館書店の方針です。話によると、後世に残っていく絵本というものはほんの数冊で、2～3年すると絶版になってしまうのだそうです。だからこそ、ロングセラーとなっている絵本は、今に限らず将来も引き続き読んでもらえるようにすること。子供たちが何度も楽しめるような絵本を作っていくことを大事にしている理念に感銘を受けました。絵本による読み聞かせを出発点として、幼児の本との関わりが始まります。よって声に出して読むことを前提に、文章はシンプルかつリズムカルで読みやすいか、どんな画家なら物語に相応した絵を描いてくれるか、その絵によって物語の理解を促し、「おもしろい」と思ってくれるかなど、見えない背景の細部にまでこだわって製作されていきます。もちろん、それは決して並大抵のことではありません。しかし、そこに深く着手して広められていく絵本たちは、子供にとって、かけがえのない財産としていつまでも輝き続けられていくのではないかと思います。

また、自由散策として東京都立千代田図書館を見学させていただきました。東京都の都市部に位置するため、会社員の人たちが利用しやすいようにとビジネス書に特化した書棚を設けられています。仕事帰りにも立ち寄れるようにと午後10時まで開館し、ライフスタイルに焦点をおいた環境が整えられていました。また、幼児関連本のスペースにはブックシャワーを設置し、本の安心・安全を心がけている取り組みも行われていました。利用者の生活の一部として、末永く活用されていく図書館であるためにはどのようなことが必要なのか。そういったことを日々忘れずに運営されていく幾多ある図書館を、このような機会を通してたくさん知っていきたいと感じました。

ツアー中、お世話になった皆様には、お忙しいところ貴重なお話をさせていただき、大変感謝しています。ありがとうございました。